

“Australian International Airshow / Aerospace and Defense Exposition : AVALON2023” に出展

2月28日～3月5日にかけてオーストラリアのメルボルン近郊GeelongのAvalon空港で開催された“Australian International Airshow / Aerospace and Defense Exposition : AVALON2023”（AVALON2023）に、2024国際航空宇宙展（JA2024）の開催告知（出展／来場誘致）および日本航空宇宙工業会の広報活動として、JA2024/SJACブースを出展・参加したので、その概要を紹介する。

1. AVALON2023の概要

(1) 開催概要

開催日程：2月28日（火）～3月5日（日）

開催場所：Avalon Airport、（Australia
Victoria州 Geelong）

主 催 者：AMDA foundation Limited
（AMDA）

(2) 展示会の概要

Australian International Airshowは1988年に初開催され、1992年の第3回からAvalon Airportに場所を移して、1995年以降は隔年で開催されてきた。コロナ禍のため2021年は開催見送りとなり、AVALON2023は4年ぶり17回目の開催だった。AVALON2023は、オーストラリア最大の国際的な航空宇宙産業展示会であ



展示（ホール3）全景

り、トレードデー3日間（2月28日～3月2日）、パブリックデー3日間（3月3日～5日）を通じた全来場者数は約248,000人と発表されている。

①展示

展示ホール3棟で、オーストラリア国内外の航空宇宙産業に関する展示が行われていた。

国内からオーストラリア政府（民間・防衛）、各州政府、研究開発機関、大学などが出展、海外からは英国、米国をはじめとした政府機関、航空メーカーが出展していた。

オーストラリア各州政府が用意した大きなブースは、中央に州政府の受付カウンター

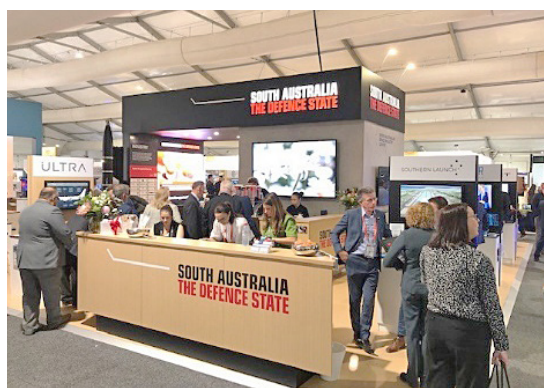
があり、その周囲に州内の航空宇宙関連企業のパネルが配置されるレイアウトとなっており、産業育成、販路拡大を後押ししている様子が見て取れた。

発表された実績は以下の通り。

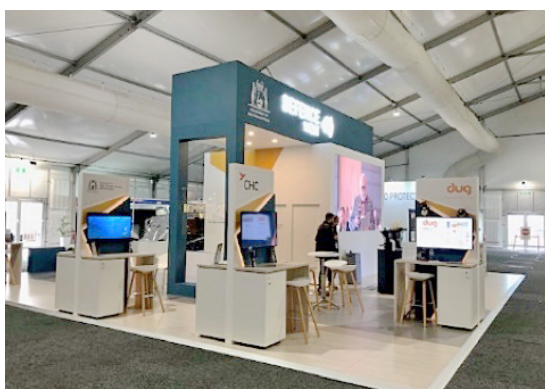
- ・参加企業数：794社（対Avalon2019比14%増）
- ・トレードデー来場者数：48,516人（対Avalon2019比24%増）
- ・トレードデー3日間（2月28日～3月2日）
- ・公式代表団数：234人（対Avalon2019比50%増）



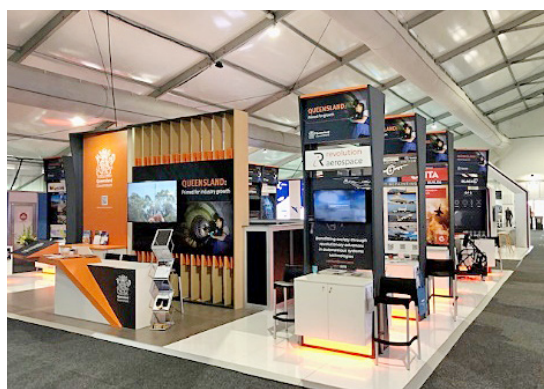
オーストラリア政府機関ブース



州政府ブース① 南オーストラリア州



州政府ブース② 西オーストラリア州



州政府ブース③ クイーンズランド州



州政府ブース④ ビクトリア州

ドローン展示例
(BAEシステムズブース)

②講演・セミナーなど

4日間にわたり、オーストラリアの政府機関、研究開発機関、航空宇宙産業界、また英国、米国などの政府機関が参加し、民間、防衛分野の講演、セミナーが行われていた。オーストラリア国内からはAustralian Association of Uncrewed Systems (AAUS)、Austrade、Australian Space Agency、Commonwealth Scientific and Industrial Research Organization (CSIRO)、Royal Australian Air Force、Aviation Australiaほか、海外からはRoyal Aeronautical Society (英国)、Department of Defense (米国)、U.S. Commercial Service (米国)、Air bp (英国)ほか参加していた。

③次回のAustralian International Airshow / Aerospace and Defense Expositionは、2025年3月25日～30日にAvalon Airportで予定されている。

2. SJACの活動概況

今回、JA2024の開催告知（出展／来場誘致）と、日本航空宇宙工業会の広報活動を目的にJA2024/SJACブースを出展した。



JA2024／SJACブース

①ブースへの来訪

ブースには、オーストラリア国内、米国、欧州からの出展企業のほか、インド太平洋地域（ニュージーランド、インド、インドネシア他）からの招待／来場者の来訪があった。

来訪者は、日本の航空宇宙産業サプライチェーンへの参入、JA2024への出展に関心を持つ現地企業の営業担当者が中心だったが、日本からの出展がSJACのみだったため、日本の航空産業・企業に関心を持つ来訪者も多く、予想以上に盛況だった。

②州政府などブース訪問

来訪者対応の合間に州政府ブースを中心に訪問し、JA2024の開催期間、開催場所などを告知した。また、JA2024ではインド太平洋での安全保障環境の変化、急がれる脱炭素への取り組み、新たな交通システム（都市型航空交通、ドローン）など、航空産業の拡大するすそ野を含め幅広く出展を募ることを説明し、出展誘致を図った。

3. 所感

コロナ禍がほぼ収束し、各国が水際対策を緩和する状況で4年ぶりに開催された展示会であり、対面での情報収集・調整が行えるリアル開催のメリットや期待が、前回は上回る出展数、来場者数に現れていると考えられる。AVALON2023は、2021年9月に、オーストラ

リア（Australia）、英国（United Kingdom）、米国（United States）の3カ国間の軍事・安全保障上の枠組みであるAUKUSが合意された後、初めて開催される Australian International Airshow / Aerospace and Defense Expositionであり、トレードデーの飛行展示などはDefense Expositionの色合いを濃く感じさせた。

JA2024/SJACブースへの来訪者数は予想以上であり、また出展者や一般来場者のほかに学生も多く、またJA2024と共に、日本の航空宇宙企業やその採用に関する質問もあり、インド太平洋地域の一員である日本への親しみと関心の高さを感じた。

今回、主催者のAMDA や州政府の商務担当者とは対面で話す機会があり、コンタクト先の情報を得たので、今後JA2024への出展につなげていきたい。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 国際航空宇宙展事務局 部長 小林 貴〕